

.....

【佐賀県地域共生ステーション連絡会関連】

■東峰村災害ボランティアセンター 東峰村社会福祉協議会に支援金として30万円寄贈

下記のお礼が届いています。

このたびは、多額な支援金を賜りお例申し上げます。

本会では、7月5日の九州北部豪雨災害において被災された村民の方々の生活再建のため、7月14日にボランティアセンターを小石原地区に本所と宝珠山地区にサテライトを設置し、県内社協を初め九州各県社協、NPO団体との協働、協力のもと活動を行ってきました。

おかげをもちまして、8月20日、小石原地区での活動を宝珠山サテライトに集約するに至り、徐々にではありますが、復興への歩みを進めています。

しかし、被災された方々が日常を取り戻すためには、まだまだ時間を要することが推察され、引き続き各関係機関や団体に継続的な支援をお願いしているところです。

今般、お寄せいただいた支援金につきましては、これからの支援活動に係る浄財として大変大きな一助になると心から感謝申し上げます。

本来ならば拝眉の上お礼を申し上げるべきところですが、略儀ながら本状に代えさせていただきますこと何卒ご了承ください。

末筆になりましたが、貴会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

平成29年8月24日 社会福祉法人東峰村社会福祉協議会 会長 梶原昌弘

佐賀県地域共生ステーション連絡会では、東日本震災や熊本地震などの募金を、佐賀県宅老所連絡会（たすけあい佐賀事務局）のときからお願いしてまいりました。この度その基金の一部を九州北部豪雨災害に支援金として寄贈することを世話人会で取り決め、今回の実施に至りましたことご報告致します。尚、NPO法人ひまわり様から今回の豪雨災害にいち早くご寄付いただきましたことにつきましても改めて御礼申し上げます。

今後も、新たな災害に備え、イベント開催時には、募金等のご協力を合わせてお願い致します。

■地域共生交流イベント 唐津市北波多公民館2階大ホール

開催日：9月22日（金）10:00～13:00 （※別添チラシ）

（内容）

- ① 地域を知ろう「北波多地区の現状とこれから」北波多福祉課
 - ② 唐津の未来を考える「共生型社会に向けた取り組みと介護予防について」
唐津市地域包括支援センター
 - ③ 楽しいレクリエーションの実践から介護や地域の課題解決へ
もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会 理事長 中島るり子氏
- ※その他、地域活動団体の紹介、介護施設ブースの設置など

今年度、第1回の地域共生交流イベントが唐津市北波多公民館で開催されます。地域の現状について、唐津市の現状について生活支援コーディネーターから報告、地域や介護の講演、地域活動の紹介などが催されます。ご参加ください。

今年度は、各ブロック代表を中心に、佐賀市東与賀町、唐津市北波多町、鹿島市、鳥栖市での開催が決まりました。30年介護保険以降、地域包括ケアや総合事業の推進など、医療も介護も地域単位にシフトしていきます。そうした意味でも、地域を知り、地域毎に開催するこのイベントを意義あるものにし、皆様の取り組みにつながるものとなるよう事務局でも後押ししていければと願っています。ご協力よろしくお願ひし致します。

■10/21 鹿島市かんらん 地域共生交流イベント開催します。

昨年に引き続き、鹿島市高津原にある「かんらん」で地域共生交流イベントを開催いたします。「地域を知ろう、嬉野・鹿島・太良のこれからと現状」と題し、嬉野市第1層協議体の第1層生活支援コーディネーターの溝口道昭氏の講演、3地区から地域づくりに取り組んでいる地域共生ステーション等の事例発表も予定されています。昼食のカレーも振舞われます。詳細は、チラシを作成していますので、できましたらお知らせします。

■10/27 東与賀保健センター 地域共生交流イベント開催

佐賀市地区の地域共生交流イベントを、東与賀保健センターで開催いたします。詳細は未定ですが、こちらについてもチラシを作成しますので、できましたらご連絡いたします。

■第2回佐賀県地域支え合い担い手養成事業 開催予定

鹿島地区で、佐賀地域支え合い担い手養成事業を開催予定です。会場は鹿島市の「かんらん」を予定しています。余暇センターきたじまを中心に、高津原地区での開催です。

カリキュラムの内容は、第1回と同様となります。講師のお願いをすることになりますのでご協力ください。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

■介護予防・日常生活圏総合事業に向けた取り組み

記入シートへの記載のご協力ありがとうございます。

総合事業に備え何らかの取り組みをはじめられている事業所向けに、記入シートを送付していただきました。現在まで届いた分で、会員様の取り組みをご紹介します。

○NPO法人宅老よりあいひまわりの会

東与賀。有償ボランティアによるささえあい事業。対象者は東与賀住民。主に、移動に困っている方の外出支援。活動件数は、年間約延べ1000件。

○NPO法人余暇センターきたじま

鹿島市。介護予防体操教室。毎週金曜日に、地域住民対象にロコモ体操等を実施。

○認定NPO法人たすけあい佐賀

佐賀市。たすけあい食堂。地域の居場所づくりを目的に、毎週火曜日実施。300円で食事を提供している。毎回多彩なイベントも開催。参加者は毎回20～30名程度。

○(株)ハッピーケアライフ

嬉野市。宅老所後を購入し、元気な高齢者、要支援程度の方を対象に、多世代交流の場づくりをしながら、参加する人の特技を活かして商品開発なども実施したい。現在準備中。

○NPO法人ゆたたり

太良町。毎週水曜日に、地域サロンを実施。町から1回の開催に5,000円の補助も。事業所周辺の高齢者を中心に開催。

○NPO法人こだま

嬉野市。「生活応援ねこのて」という有償の生活支援を実施。家事支援や外出支援も同額で小判、大小判というチケットで事前に希望購入。月曜日から金曜日まで、地域の支え合いを目的に実施。

○認定NPO法人

佐賀市。地域の居場所づくり。毎週1回、介護予防体操を実施。参加者5～9名程度。9月から1月に1回の買物サロンを実施予定。

■7/21 伊万里有田地区 地域共生交流イベント報告

北部地区では、ふくふくの里なごみを会場に、7月21日10時～14時半、伊万里有田地区地域共生交流イベントが開催されました。

大川内保育園児による太鼓演奏、NPO 五大樹つくしによる健康体操、伊万里市地域包括支援センターからは新しい総合事業についての講演会も実施されています。健康や心、介護などの相談ブース、そうめん流しやカレー、かき氷や金魚すくいなどのお祭り屋台も出店し、地域から78名、利用者や関係者91名で、唐津・伊万里・有田の地域共生ステーションの会員を中心に開催されています。

開催後には反省会も実施され、実施して良かったこと、課題などを深めています。総じて有意義であったこと、次につなげたいなどの意見が出ています。関係者の皆様たいへんおつかれさまでした。

■全体研修②報告 8/23 白水峰子氏講演会 アバンセ 56名

今年度2回目の資質アップ研修をアバンセで開催しています。今回は、NPO法人とさくさん

の理事長 白水峰子さんにご登壇いただき「共生」の実践の取り組みをお話していただきました。

地域で、高齢者や障害者、児童を一つ屋根の下で支える方針、具体的実践の取り組みなど、熱く語っていただき、皆さん熱心に聞き入られていました。30年度の「共生型給付」実施前に備え、たいへん参考になる実践発表となりました。

■地域ささえあいヘルパー養成研修会 8月26日、27日開催報告

新しい総合事業の生活支援従事者向けの「基準緩和型」の講習として位置づけられる、A型サービスや住民主体のサービスなどの生活支援に携わる方向けに、ガイドラインのカリキュラムに準拠して実施しました。地域医療介護総合確保基金（介護分）の助成により、新しい総合事業における「佐賀県地域支え合い担い手養成研修」を8月26日、27日に開催しています。会場はメートプラザとほほえみ館。

参加者は、行政の広報、各公民館に配布、ポスティング業者に依頼しましたが、参加者は20名定員で8名でした。募集の仕方に反省は残りましたが、講師のつながりやその内容、意欲的な参加者の姿勢も見られ開催の意義は確認できています。今回の反省も踏まえ、次回は鹿島市で実施することになります。皆様のご協力をお願い致します。

■映画「ケアニン～あなたでよかった～」の上映開催に向けて

2017年初夏、全国公開予定の映画「ケアニン～あなたでよかった～」の上映会開催に向けて調整していきます。10月以降の開催で準備いたします。

新人の介護福祉士を主人公に、介護という仕事を通じ、働くことの意味、人や地域の繋がりやの尊さを描く。これとやってやることがなかった大森圭は、漠然とした理由で介護の専門学校へ入学し、卒業後は小規模多機能施設で介護福祉士として働いていた。認知症の高齢者たちとうまくコミュニケーションがとれず、悩む日々が続いていた圭が初めてメインの担当となったのは、認知症を発症した79歳の星川敬子だった。先輩スタッフたちの協力もあり、試行錯誤の中、徐々に敬子との関係性を深めていく圭は、介護という仕事に本気で向き合うようになっていく。主人公の圭役を「仮面ライダーウィザード」の戸塚純貴が演じる。監督は「東京PRウーマン」の鈴木浩介（抜粹）。

■地域共生ステーション推進事業要綱について

平成29年4月からの「佐賀県地域共生ステーション推進事業」の要綱が佐賀県のホームページに掲載されています。

ポイントは地域共生社会実現に向け、ぬくもいホームの推進及び転換といったもの。ぬくもいホーム本体事業のサテライトとして地域住民交流の拠点づくりへの開設補助が設けられたことも新しい試みとなっています。

30年以降に新設される「共生型サービス」や、今後進んでいく「住民主体の総合事業」といったものは、宅老所やぬくもいホームで長らく温めてきたものといえると思いますが、ようやく制度が後追いで追いついてきた表れでもあります。

具体的な共生の取り組みが今後求められるものとして、積極的な活用をご検討ください。

★会員の皆様には、これにあわせ、地域の「居場所づくり」にチャレンジしていきましょう。
総合事業でいえば、一般介護予防事業「地域介護予防活動支援事業」ということとなります。
まだ県内で位置づけられていませんが、実績づくりという視点ではじめていきましょう。

■ブロックの動き、地域情報

中部ブロック（佐賀市・小城市・多久市・江北町・大町町）

○9/7 ブロック会議が、江北町のなごむの里で実施されます。中部地区の方はご参加ください。

西部ブロック（武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町）

○9/20 定例会及び研修会

「適切なオムツの使用法」 場所 塩田楠風館 時間 18時～

北部ブロック（唐津市・伊万里市・有田町）

東部ブロック（神崎市・吉野ヶ里町・上峰町・鳥栖市・基山町）

鳥栖市地域共生ステーションNPO法人とさくさん

★とさくさん観月会のご案内

とさくさんでは、ご利用者の家族並びに地域の方へ、地域交流を深める「とさくさん観月会」を毎年実施されています。お近くの方は足を運んでみてはいかがでしょうか。

○日時 平成29年9月23日（土） 18時半～

○場所 NPO法人とさくさん（鳥栖市田代昌町5番地 0942-84-8087）

※各地域共生ステーションの実践や、地域の情報をMMで配信しますので、

メールでの情報提供にご協力ください。（fukusinoie@world.ocn.ne.jpまで）

■佐賀県CSO支援自販機を設置しています

佐賀県地域共生ステーション連絡会では、佐賀県と協働し「佐賀県CSO支援自販機」を、コカコーラウエスト様及び西日本ビバレッジ様のご支援により下記に設置しております。

★コカコーラウエスト様自販機 アバンセ1F

★西日本ビバレッジ様自販機 九州シンクロトロン光研究センター2F交流センター

CSO支援飲料水等の購入による売上の一部を自販機設置事業者がCSOに寄付する自販機のこと、連絡会の活動資金に活用させていただいています。社会貢献活動や寄附文化意識の向上にも寄与するものです。施設をご利用の際はCSO自販機をご利用ください。

「コカコーラ・ウエスト様」「西日本ビバレッジ様」ご支援誠に有難うございます。

.....

【さが福祉移動サービス・ネットワーク関連】

■9月1日 移動・外出を多様な生活支援サービスで推進するセミナーin福岡

開催報告

9月1日、全国移動ネット主催（さが移動ネット後援）、福岡市天神の自治労会館で開催されています。参加者の多くは自治体関係者で170名が参加しました。佐賀県からも広域を含め11自治体が参加しています。総合事業がはじまり、移動支援の訪問Dがはじまったこと、また、体制整備事業がはじまり、地域の課題として高齢者の足の確保を求める住民の声などが、今回の参加率を後押ししたと考えられます。さが移動ネットからは、中原たすけあいの会の平野氏が登壇し、地域の実情にあった移動手段の確保の必要性について実践を交えた報告がなされています。自治体の意識が高くなっていることを実感できるセミナーとなりました。

■移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送講習会）開催

○9/12、13 唐津市 シルバー人材センター主催限定講習

○9/16、17 佐賀市鍋島シェスト 通常講習

鍋島シェストで開催される通常講習は、現在17名となっています。あと3名はお申込みできます。

「移動サービス認定運転者講習」 移動サービスをはじめませんか！！

第43回移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送大臣認定講習）をさが福祉移動サービスネットワークにて開催いたします。福祉有償運送実施団体の方はもとより、デイサービスの安全運転のスキルアップ、また、今後、総合事業がはじまり生活支援の中の移動支援に関心を寄せていただく上でも受講をお勧めしています。「さが福祉移動サービス・ネットワーク（ふくしの家0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード）にお申込みください。

総合事業においても移動支援である「訪問D」をどう位置付けるか今後大きなテーマになります。移動サービスの理解を深めていきましょう。

申込書ダウンロード <http://www.fukushinoie.jp/>

■全国過疎問題シンポジウム2017in佐賀が開催されます。

10/19 佐賀市文化会館 過疎地地域自立活性化優良事例表彰、基調講演 ほか

10/20 上記分科会の第3分科会（白石町）パネリストに、中原たすけあいの会の平野氏が登壇予定。

■佐賀県の福祉有償運送団体

平成28年11月1日時点で、37団体となっています。県によっては実施する団体が増えているところもあります。県内でも地域によっては移動サービスを実施できるところが不足していま

す。社会貢献の一つ、サービスの一環として、是非参画下さい。福祉有償運送を実施したい団体様は相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji0031144/3_1144_25454_up_036enal5.pdf

(佐賀県HPより)

.....

【ニュース】※抜粋

◆「退院支援」から「入退院支援」へ。「入院早期」から「入院前」へ——。診療報酬改定を議論する中医協の入院医療の分科会では、先日、そんな議論が行われました。現在の診療報酬では、入院早期に退院困難な要因を抱える患者を抽出して、患者・家族との面談やカンファレンスなどを行った場合に医療機関に加算がつきますが、一部の病院ではすでに入院前から退院を見据えた取り組みを進めているようです。キーマンはケアマネジャー。8月24日の分科会では、入院前から担当ケアマネがいる患者について、情報提供を受けた病院の約半数が「有用だった」と回答していると報告されました。厚労省はこの連携をさらに進めて、長引く入院を減らしたい考え。「入退院時の医療・介護連携」は、7月の介護給付費分科会でも議論されています。両報酬からの評価が行われることになりそうです。

◆8月28日、国土交通省、厚生労働省は連名で、サービス付き高齢者住宅の立地の適正化に向け意見聴取の仕組みを活用するなど市町村が積極的に関与するよう通知しました。地域包括ケアシステムに位置づけられる住まいとしてふさわしくない立地での計画が後を絶たないためです。来年度以降は、地域のコミュニティに根ざしたサ高住の建設が進むよう国土交通省は補助要件の見直しも検討していく考えです。

◆厚生労働省は8月25日、2018年度予算の概算要求を発表した。今年度当初予算から7426億円増一般会計総額31兆4298億円で、過去最大規模となった。高齢化に伴う社会保障費の自然増は、6491億円と見込んだ（他省庁分200億円を含む）。最終的には目安の5千億円増に圧縮するために予算編成過程で1300億円分を絞り込む必要がある。介護報酬・診療報酬・障害福祉報酬は年末の予算編成過程での検討事項。薬価引き下げが削減の具体策として上がっているが、他の報酬改定へも引き下げ圧力がかかりそうだ。

◆社会保障審議会介護給付費分科会は23日、自立支援の取り組みを促すために介護報酬でインセンティブをつけるかなどについて議論。要介護度の改善を目安にすることについては、否定的な意見が多い。訪問系サービスの使い過ぎを防止するため、集合住宅の減算が適用されている場合にも区分支給限度額の計算は減算前の報酬単価を使うことも提案された。

.....

【書籍販売】

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル3「居場所・サロンづくり」

公益財団法人さわやか福祉財団 編 1,200円

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル6「移動・外出支援」

特定非営利活動法人全国移動サービス・ネットワーク 編 1,200円

.....

～地域福祉推進拠点のネットワーク～

佐賀県地域共生ステーション連絡会

～移動自由な地域を目指して～

さが福祉移動サービス・ネットワーク

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニービル3F）

認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：fukusinoie@world.ocn.ne.jp

佐地共連ホームページ <http://sachikyouden.com>

※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。

※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。